

ロス対策士の皆さん

今回は、第10回ロス対策士検定試験に合格されたおひとりを紹介します。
また、北陸大学からアンケートの依頼が来ております。皆さまご協力をぜひお願いします。

ロス対策士コミュニティのお知らせ

フェイスブックに「ロス対策士コミュニティ」を設けました。フェイスブックのアカウントをお持ちの方は、是非ご参加ください。

<https://www.facebook.com/groups/919653045344673>

特定非営利活動法人全国万引犯罪防止機構
LP教育制度作成委員会

万引き防止に関するアンケート協力のお願い

北陸大学経済経営学部の山本啓一教授

アンケートのURLは、こちらです。 <https://forms.gle/L8Ei1sZw5uKEFjEg7>

重松司さん

明屋書店平井店店長の重松司（しげまつつかさ）さんは、松山出身。広島で大学で勉学に勤しんでいましたが、地元に戻り明屋書店に入社して12年になります。（2024年7月10日現在）

現在の店舗に店長として勤務してから、およそ1年半になります。以前は、松山市中心部のショッピングセンター内にある店舗の店長を務めていたそうですが、立地や客層が違ってもあって品ぞろえも大きく異なる点があるといいます。現在の店の顧客の年齢層は5～60歳代が中心ですから、それに対応して、例えば健康や園芸関係の実用書を増やすなどしています。

重松さんが店舗を任されている中で強く意識しているのは“変化”させることだそうです。書籍以外のものを積極的に取り入れる試みもしています。災害対策の保存食として缶詰を販売してみたり。缶詰を扱うなら「おつまみ」の缶詰と「おつまみ」の本とを関連販売したり。

44年の歴史を持つ平井店もどんどん変えていこうとチャレンジしています。

店長の裁量は広く与えられていることもあって、自らも部下の提案をできるだけ聞くこと、かれらの自主性を尊重することを大切にしているそうです。

本を読むことが好きだったことが書店で働くことにつながった重松さんですが、書店で働く中で、ジャンルに関係なく興味を持った本を読むようになったそうです。最近どんな本を読んでいるのかとの質問に「料理の本」という答えが返ってきました。その理由は、二人目のお子さんが生まれたからだそうです。料理に限らず、分担して家事を行っているのです。上のお子さんは電車を見るのが大好きで、朝早く起きて一緒に見に行っているそうです。趣味はアウトドア、キャンプや山登りが好きな重松さんですが、今は子育て家事に全力投球です。

重松さんはロス対策士の資格取得で学んだことが実務に活かされているといます。さらに重松さんは「書店業界として考えると、書籍の売上を伸ばすことは難しいことは確かです。そのような中でロスを削減することの重要性は今まで以上に重要だと考えています。前回の棚卸結果では、ロス率は平均よりも悪く、改善が必要でした。まず、スタッフの声掛けの徹底、防犯カメラ作動中の掲示の改善などをすぐに行いました。また、スタッフと”もし万引犯を見つけたらどうするか”について、”誤認逮捕”や自分たちの”安全”なども配慮した上で、どう行動するかを一緒にシミュレーションするなど、常に部下と話し合うようにしています。」と話してくれました。

将来の目標について尋ねると、「仕事も子育てももっと楽しんでやりたい、しんどいことがあってもそれ以上に楽しくやっていきたいです。」と答えてくれました。
